



小郡市立大原中学校 令和8年4月30日 第3号

大原中学校だより

校長 末崎 謙次



【学校教育目標】自走と共生に必要な資質・能力を身につけた生徒の育成

逆風を力に変えて

さわやかな風が吹き抜け、空にこいのぼりが泳ぐ季節です。こいのぼりには、激流の滝を登り切って龍になったという「登竜門」の伝説があり、困難に打ち勝ち、たくましく成長するシンボルとされています。



また、こいのぼりには大きな特徴があります。それは自分に向かって強い風——「逆風」が吹いたときこそ、それを体いっぱい受け止めて、空高く力強く泳ぐということです。

中学校生活でも、勉強や部活動、人間関係や進路の悩みなど、前に進むのが苦しい「逆風」を感じる事が必ずあります。そんな時は、空を泳ぐこいのぼりの姿を思い出してください。逆風は前進を邪魔するものではなく、自分を高く舞い上がらせる力に変えることができます。

しかし、時には風が強すぎて一人ではどうにもならないこともあります。苦しくてつらい時は、決して一人で抱え込まず、周りにSOSを出してください。みなさんの周りには、一緒に悩み助け合える友達や先輩、そして家族や先生、スクールカウンセラーといった私たち大人がいます。

こいのぼりも「ポール」という支えがあるからこそ泳ぎ続けることができます。周りの仲間や私たちが、みなさんを支える「ポール」になります。共に支え合いながら、逆風を乗り越えていきましょう。

スペシャルサポートルームについて

中学校生活では時に「一人では抱えきれない強い風」を感じる事ががあります。本校では、生徒のみなさんが自分らしく安心して過ごせるための「支え」の一つとして、『スペシャルサポートルーム』を設置しています。心が少し窮屈になった時、ひと休みしてエネルギーを蓄えるための場所です。

利用したいと思う人は、担任の先生や学年の先生などに相談してください。見学や体験入室もできます。



よりよい学校を自分たちの手で ～生徒総会が行われました～

4月21日(火)、今年度の生徒会活動の方針を決定する「生当日、私は参加することができませんでしたが、生徒会スに高め合い、その一歩が楽しさになる学校へ～」のもと、全校生ちの学校生活をより良くしていくための活発な議論が交わされ、この総会で承認された計画をもとに、いよいよ本格的な生一トします。一人ひとりが当事者として自ら考え動き(自走)、し合う(共生)。そんな両方の心を体現してくれることを期待しています。



授業参観・学級懇談会・PTA総会のご報告とお礼

4月24日(金)、今年度最初の授業参観および学級懇談会、PTA総会を開催しました。お忙しい中、多数の保護者の皆様にご来校いただき、心より感謝申し上げます。

新しい環境でのスタートから約1ヶ月。授業参観では、真剣な眼差しで授業に取り組む生徒たちの姿をご覧いただけたことと思います。保護者の方も授業に参加していただいた学年もあったようです。いかがだったでしょうか。保護者の皆様の温かい眼差しが、生徒たちにとって何よりの励みになっていました。

その後のPTA総会におきましても、新体制での活動が無事に承認されました。今年度も、学校とご家庭がしっかりと手を取り合い、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと考えています。

命を守るために ～交通安全教室を実施しました～

4月21日(火)、1年生を対象とした交通安全教室を実施しました。中学校では自転車を利用する機会が増えます。教室では、基本的な交通ルールの再確認に加え、「一時停止の重要性」「スマートフォンのながら運転の危険性」などについて、詳しくご指導いただきました。ルールを守らなければ被害者にも加害者にもなり得るということを、生徒たちは真剣に学んでいました。



◆ ご家庭におかれましても、以下の点についてお子様と確認をお願いいたします。

- ①自転車の点検整備(ブレーキ、ライト、タイヤの空気圧など)
- ②危険な交差点や通学路の確認
- ③ヘルメットの着用について(命を守るための有効な手段です)